

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	6-	5	
事業名	ごみ減量・再資源化事業費	会計	款	項	目
		一般	4	2	1
施策	4 快適なまち	課名	環境防災課		
	4-1 環境と共生するまちをつくる	係名	環境資源係		
	4-1-1 循環型社会の形成				
主要施策	①ごみ収集・処理体制の充実	②ごみ減量化の啓発と推進			
	③3R運動の促進				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	一般家庭から排出される資源ごみを分別処理し再生利用可能な資源ごみを分別回収することで、ごみの減量化・資源循環を図る。
事業内容	一般家庭から排出される資源ごみを分別処理し再生利用可能な資源ごみを分別回収することで、ごみの減量化・資源循環を図る。 家庭から排出される資源ごみ〔缶・びん・新聞・雑誌・段ボール・雑紙・飲料用紙パック・ペットボトル・布・廃食油・小型家電〕を委託業者により分別収集し、各品目ごとに再生利用先へ搬入し処理を行っている。町内の各団体が収集した資源ごみ（紙・布）について、1kgあたり6円の補助金を交付している。 ごみの減量・分別・リサイクルへの啓発を目指し、生ごみ処理機やコンポストの購入者に対し購入補助金を交付している。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）	
	1	資源ごみ収集量（町収集分）	510	677	668	t		570	
2	資源ごみ収集団体育成補助金	388	392	400	件		360		
3	生ごみ堆肥化容器等補助金	19	13	13	件		36		
4									
5									
			平成30年度（決算）		令和元年度（決算）	令和2年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B					21,684	23,182	33,154		
財源内訳	直接事業費A				21,684	21,730	31,702		
	うち一般財源				16,521	15,041	30,936		
人件費（千円）B					0	1,452	1,452		
内訳	一般職員（人・千円）				0	0.22	1452	0.22	1452
	臨時職員（人・千円）				0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画		③取組の課題	生ごみ堆肥化事業の今後（後継者問題等）について、NPOと協議が必要。
②R1年度に実施した取り組み	資源ごみ収集団体・生ごみ処理機購入者等への補助金の交付	④今後の改善計画	資源ごみ収集団体育成補助金については、団体の活動財源となっており、今すぐ廃止するのは困難と考えます。また、生ごみ処理機補助については、一旦、終期設定は行うが、近隣市町の動向に合わせ引き続き継続する。